

東邦医学会雑誌

第60巻 第3号 (平成25年5月)

目次

■巻頭言	狭間の臨床研究が国際的に認知されるまで 長谷弘記	135
■退任記念	大江容子先生ご略歴 大江容子教授送別の辞 青山幸生	136 138
	有田秀穂先生ご略歴 有田秀穂教授送別の辞 鈴木郁子	139 140
	高木啓吾先生ご略歴 高木啓吾教授送別の辞 秦 美暢	142 144
	杉本元信先生ご略歴 杉本元信教授送別の辞 島田長人	145 147
	甲田英一先生ご略歴 甲田英一教授送別の辞 長基雅司	149 151
	吉田正己先生ご略歴 吉田正己教授送別の辞 樋口哲也	152 153
■最終講義	ウイルス性皮膚疾患 吉田正己	154
■原 著	Development and evaluation of a novel bone hemostatic agent that does not inhibit bone repair <i>Sunakawa T, Kaneko T, Umeda T, Ito K, Ikegami H, Musha Y</i>	159
■総 説	第141回東邦医学会例会 特別講演： 髄膜炎発症機序の解析 宮崎修一	168

■世界の研究室から		
	The University of Texas, MD Anderson Cancer Center “Making Cancer History”；こちらヒューストン	
	齋藤紀彦	174
<hr/>		
■学会参加記		
	American Heart Association (AHA) 2012	
	坪田貴也	176
<hr/>		
■教室（診療科）紹介		
	佐倉病院内科：専門性と総合力を有する内科医の育成を目指して	
	鈴木康夫	178
<hr/>		
■論 評	アトピー性皮膚炎の変遷と未来	
	向井秀樹	180
<hr/>		
■投稿規定		181
<hr/>		
■編集後記		184
